

丹後震災記念館耐震化・利活用基本計画

【別冊】

令和 7 年度 丹後震災記念館耐震工法調査委託業務

1	・工事概要	2
2	・工事項目リスト	3
3	・工事概要図面 A-1配置図 A-2平面図 A-3立面図 A-4断面図	4
4	・設備概要書 E-1設備概要書 E-2衛生空調設備プロット図 E-3空調イメージ写真 E-4電気設備プロット図	9
5	・各種検討資料 窓枠検討図 トイレ検討図 耐震壁部光窓詳細図 換気設備ライニング外構室外機スペース 木建具参考図 EVを自主設置する際の検討資料	13
6	・法的整理	20
7	・耐震設計概要書 C-1耐震設計概要書 C-2各階補強要領図(伏図・軸組図) C-3各階補強要領図(伏図・軸組図) ※耐震補強案イメージ図 C-4中性化対策参考資料	22

1 工事概要

〒627-0024
京都府京丹後市峰山町室 1198

構造:RC造
階数:地上2階 地下1階 塔屋付

設計:一井九平
施工:山虎組

竣工:1929(昭和4)年12月18日竣工
2005(平成17)年3月京都府指定文化財

■主な改修項目

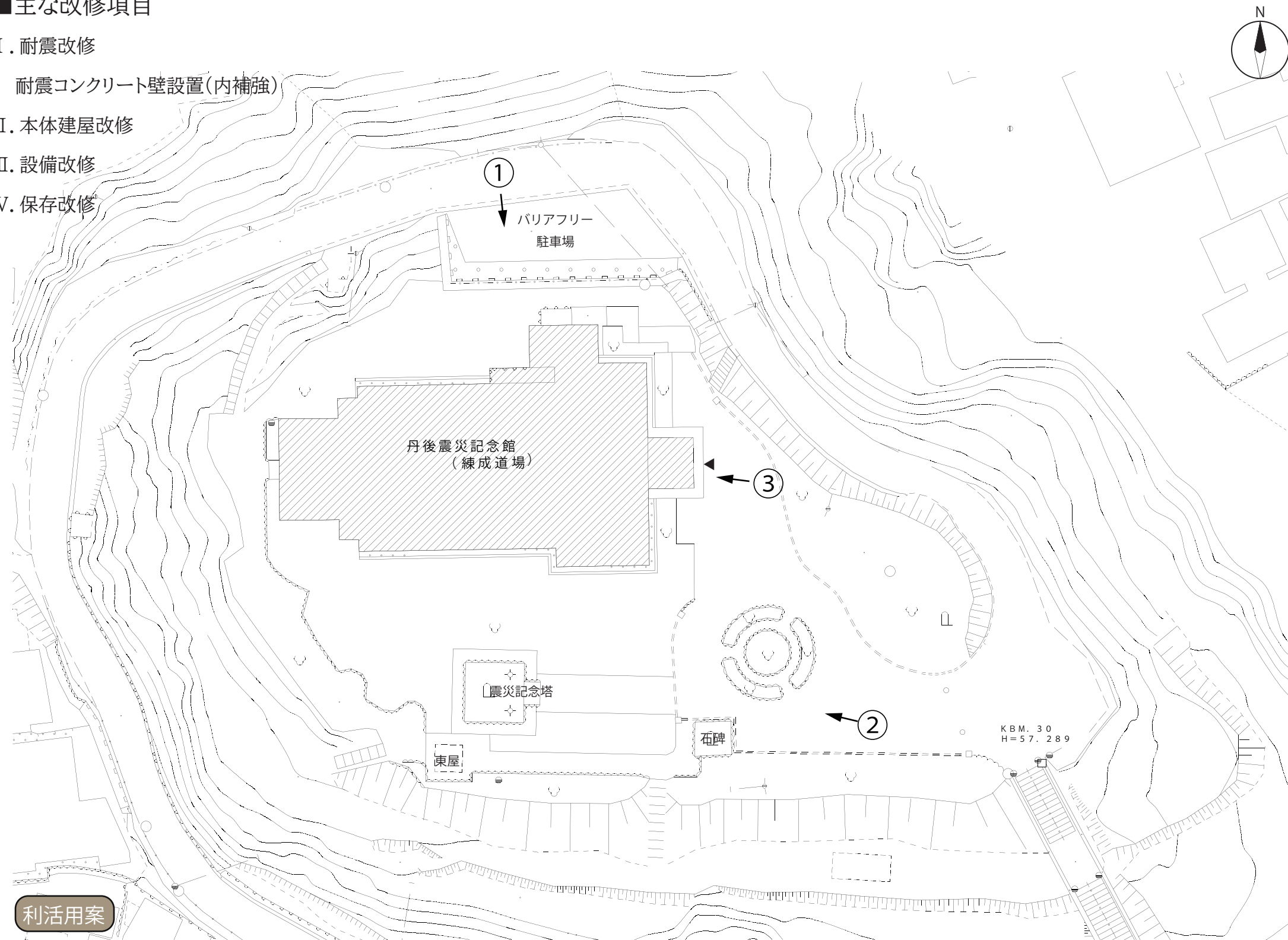
I. 耐震改修

耐震コンクリート壁設置(内補強)

II. 本体建屋改修

III. 設備改修

IV. 保存改修



① 駐車場から見た



② 敷地東側から見た



③ 記念館入口



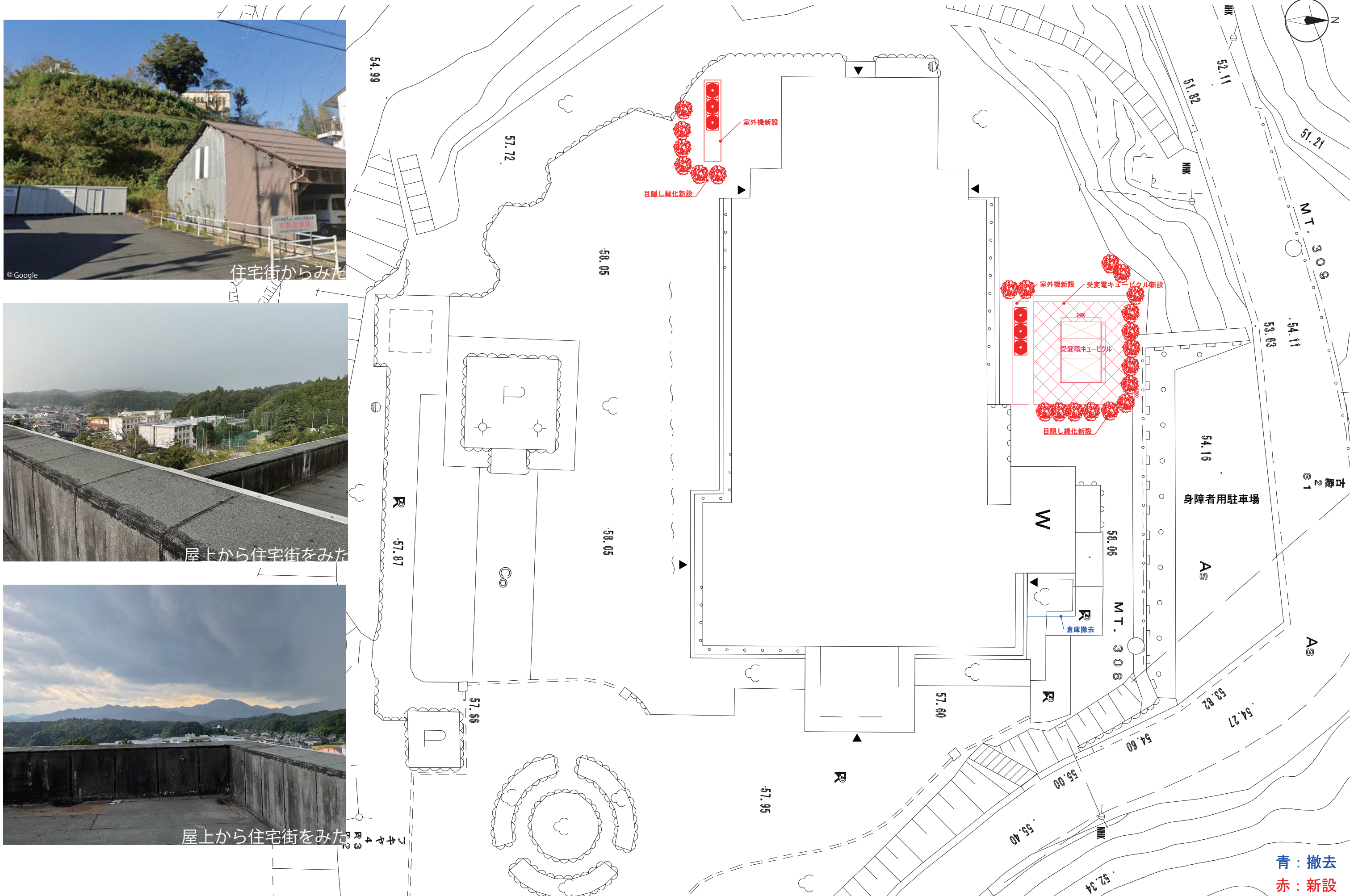
- 全体的な方向性として、建物はゾーニングによる使い分けでの利活用を想定。空調、Wi-Fi、水回り、スマートロック等の設備を導入。
- 起業したい人の挑戦の場として、期間を設けたチャレンジショップの展開可能性も考え、フレキシブルに用途変更が可能な施設とする。
- 周辺環境の整備に関しては最小限にとどめ、道路拡幅はせず、既存の駐車場は障害者身障者スペースとし、丘の麓に用地を確保し駐車場とする。

2 工事項目リスト

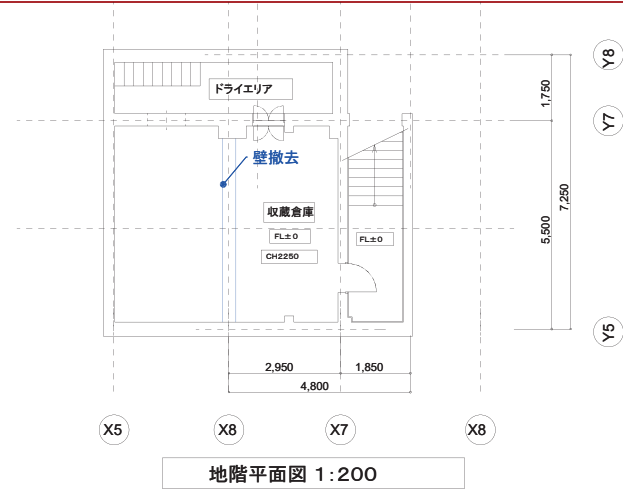
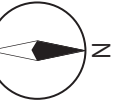
項目					
	大項目	中項目	詳細項目	補足	
I	耐震改修		耐震コンクリート壁設置	B 案(内補強)	
			耐震壁の塗装		
II	本体建屋改修 建築	外壁改修	コンクリート補修	全面打診調査・モルタル撤去更新を 30% 見込む 窓回りのモルタルは撤去・復旧	
			塗装(擬石仕上)の更新	既存(擬石仕上)の剥がし 補修含む	
			腰タイル ピンニングの上エポキシ樹脂注入		
			樋の更新及び一部樋の新設	縦樋がない箇所あり	
			外壁装飾の補修 塗装(擬石仕上)更新	コーニス 窓周りまぐさ	
			玄関底部分の補修 更新	既存(擬石仕上)の剥がし 補修含む	
			アルミ・スチールサッシ撤去更新	スチールサッシに更新(建築当時の姿)	
			入り口階段周り更新	地盤沈下により階段部が落ち込んでいる	
			外部建具(木・スチール)撤去更新		
			WC 周り増築部(倉庫)撤去補修	壁 屋根	
			玄関外壁サイン改修		
			屋根改修	屋上防水更新	アスファルト防水、ドレン更新含む 塔屋防水更新も含む
				既存アンテナ・スピーカー類 架台残置	錆び止め補修
		内部改修	壁 漆喰の浮き撤去更新	全面打診調査・漆喰撤去更新を 30% 見込む 既存漆喰の剥がし 補修含む	
			内部建具撤去更新		
			窓周り 額縁・カーテンボックス撤去更新		
			WC レイアウト変更 撤去更新		
			階段周り手すり改修	塗装 ガラスはめ込み	
			床仕上げ更新 フローリング	下地撤去更新含む	
			木巾木設置工事		
			仮設ステージ		
		天井 漆喰更新	全面打診調査・漆喰撤去更新を 30% 見込む モルタル下地補修含む		
		外構改修	外部舗装改修	インターロッキング	

		スロープ新設	手摺 溶融亜鉛メッキリン酸処理
		植栽工事	植栽一部補修、設備目隠し用
		備品	カーテン設置
III	設備改修	防災設備更新	既存撤去、 自動火災報知設備(P 型)、火災通報設備 ※別表第一 17 項
		空調設備新設	
		換気設備新設	
		高圧電力引込設備新設	引込構内柱、高圧ケーブル、埋設配管
		受変電設備新設	屋外キュービクル、接地工事
		幹線設備新設	幹線ケーブル、埋設配管、露出配管、動力盤、電灯分電盤
		動力設備新設	ケーブル配線、埋設配管、露出配管
		照明設備更新	既存撤去、 LED 照明
		防災照明設備新設	非常照明(電池内蔵)・誘導灯(電池内蔵)
		コンセント設備更新	既存撤去、 コンセント新設
		電話・LAN 配管配線	弱電端子盤、モジュラージャック、ケーブル配線、露出配管、外線引込埋設空配管
		拡声設備新設	移動式ポータブルアンプセット
		誘導支援設備新設	来館者用インターホン
		低圧電力引込設備撤去	既設電灯分電盤、幹線ケーブル
		給水・排水設備更新	WC 更新含む
IV	保存改修	ELV 棟設置、渡り廊下接続 工事(項目見積り)	
		修理報告書作成	

3 A-1 配置図 S=1/200



3 A-2 地階.PH平面図 S=1/200

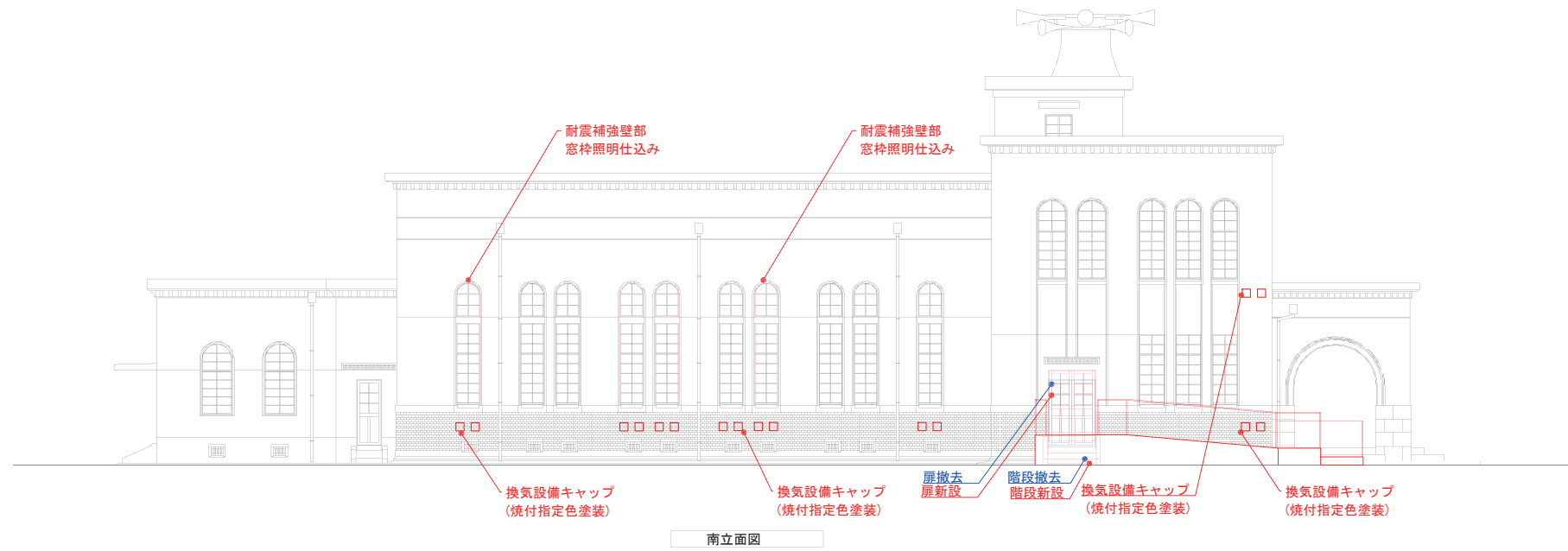


地階平面図 1:200

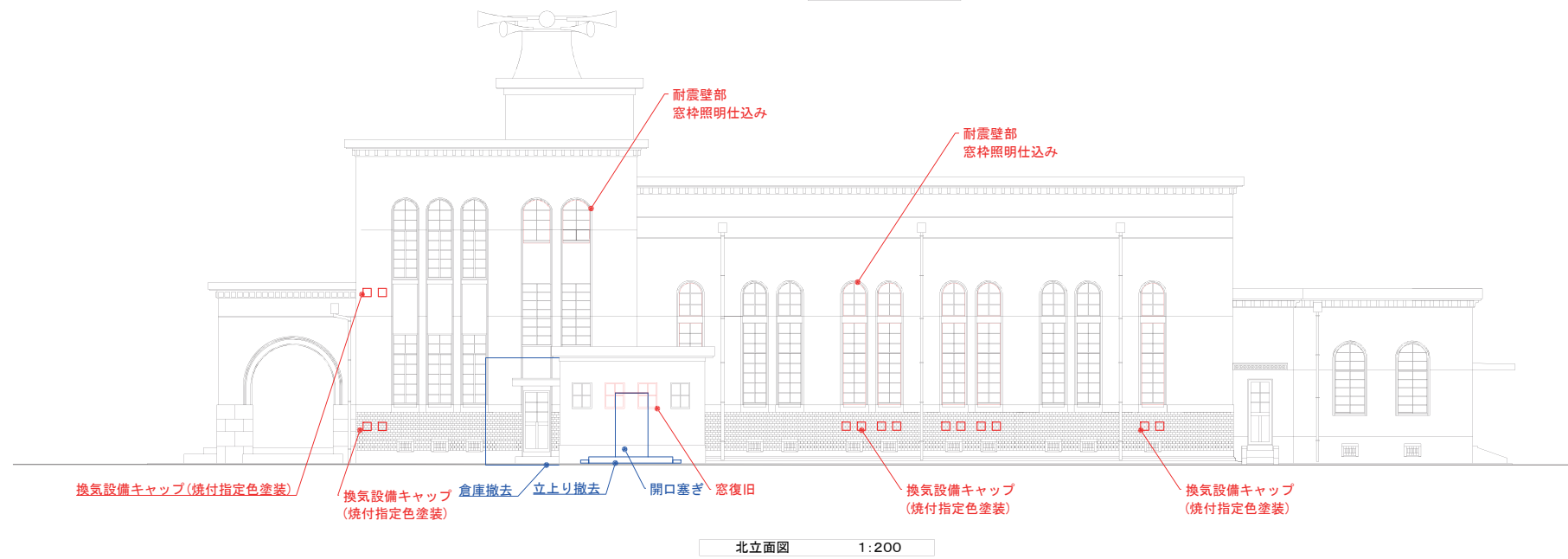


PH階平面図 1:200

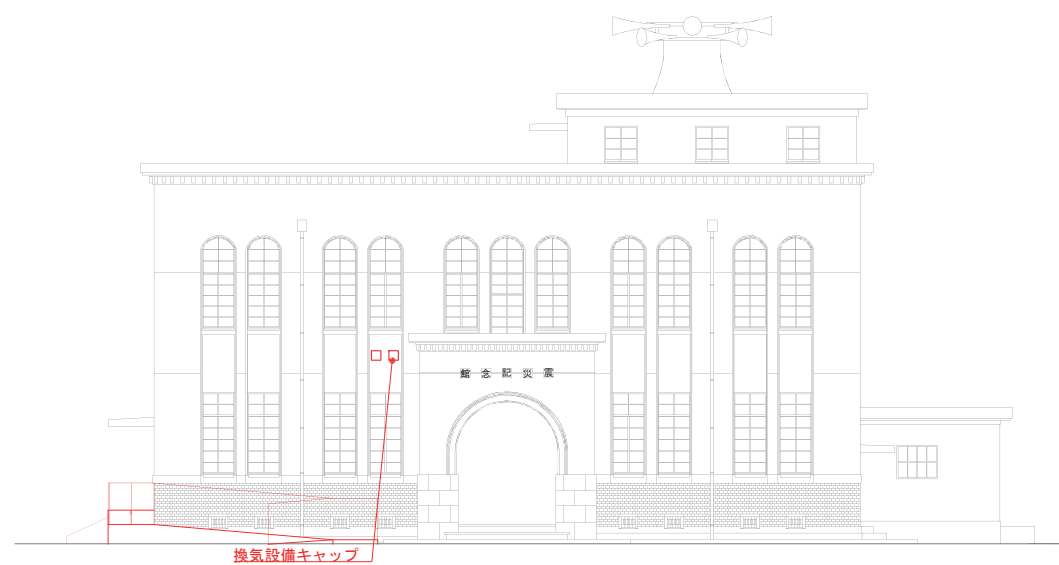
青 : 撤去
 赤 : 新設
 ■ : RC耐震壁



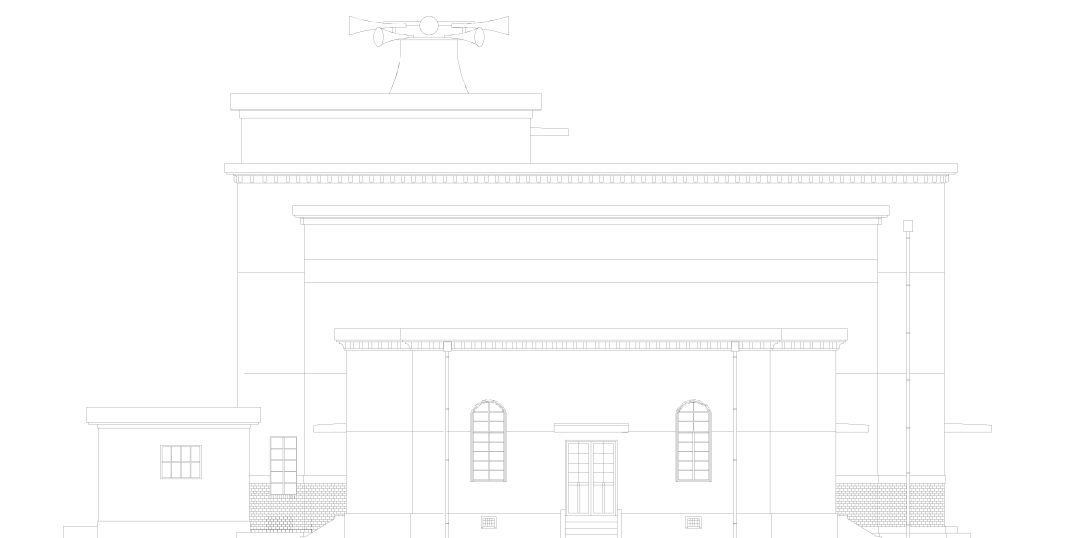
南立面図



北立面図 1:200



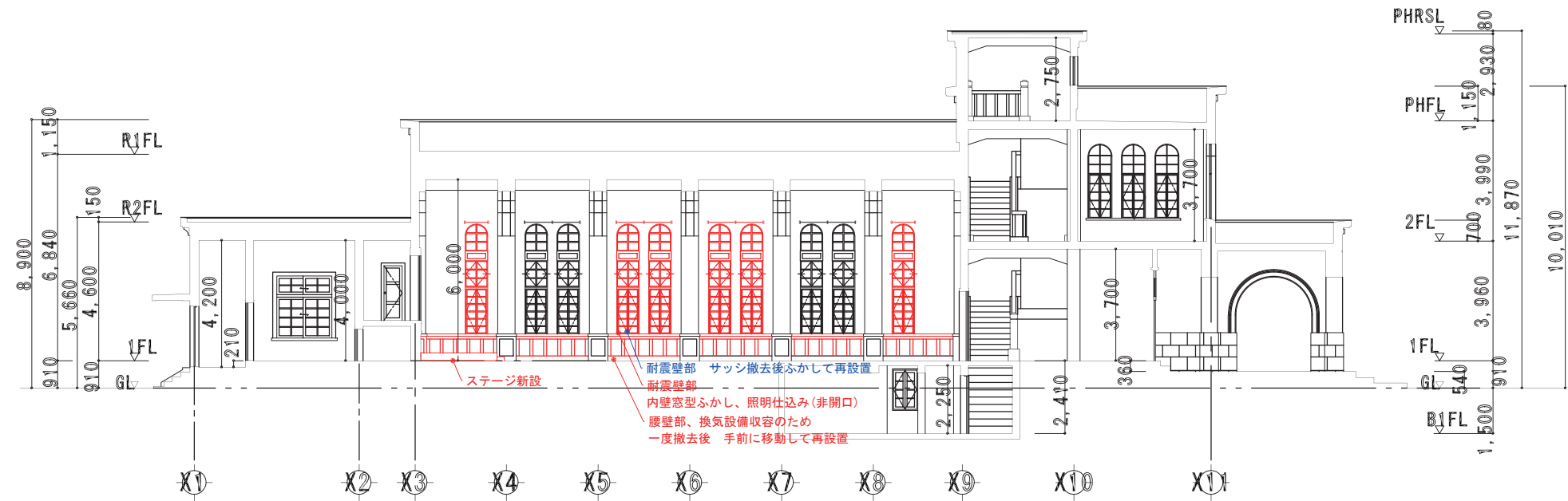
東立面図 1:200



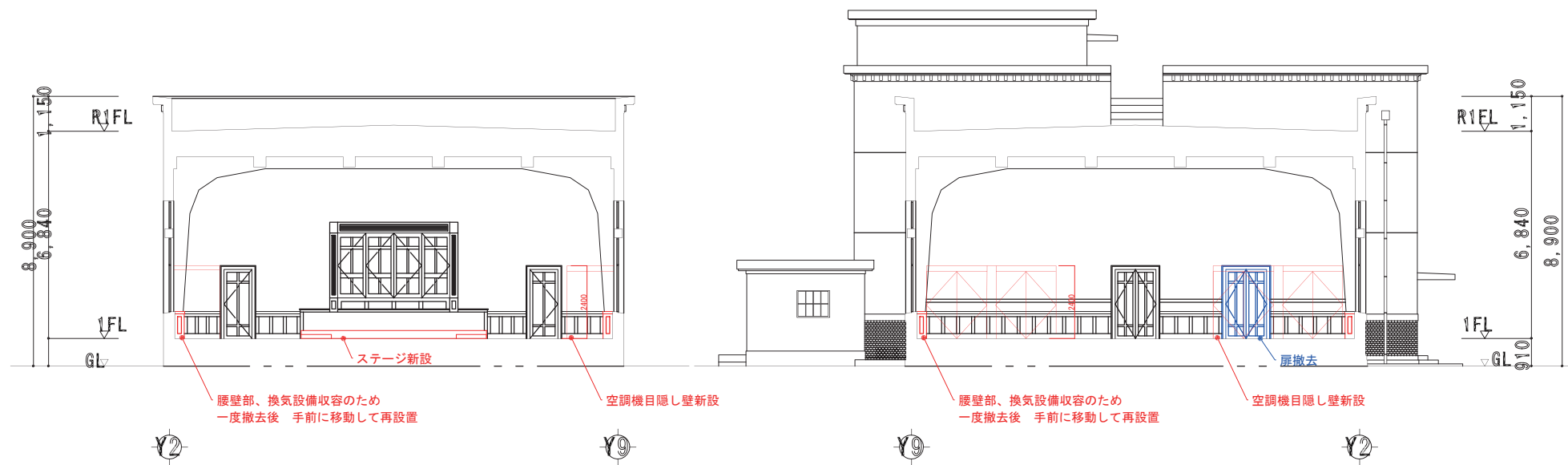
西立面図 1:200

青：撤去
赤：新設

3 A-4 断面図 S=1/200



断面図-1 1:200



断面図-2 1:200

断面図-3 1:200

青：撤去
赤：新設

4 E-1 設備概要書

丹後震災記念館 耐震化・利活用基本計画 設備概要書

■想定事項

- ・ インフラ（電力・給水・排水）は建物近傍まで敷設されている前提とします。
- ・ イベントホールは京都府の「興行場の設置場所の基準等に関する条例」に該当しない前提とします。
- ・ イベントホールは躯体に負荷をかけないため床置形にて計画しますが、演奏会等の静粛な環境を求められた場合は、空調方式の変更または中間期で空調が不要な時期に開催するなど運用にて対応する前提とします。
- ・ カフェは館内で調理等は行わず、ケータリングによる運用の前提とします。
- ・ 以下の条件にて設備工事費の概算を行いました。

■機械設備

□給水設備

- ・ 既存のトイレまで敷設されている給水管は撤去し、新設給水管を計画します。
- ・ トイレ廻りの給水管はすべて撤去・更新で計画します。
- ・ 2階のカフェ・コワーキングにミニキッチンを計画します。

□給湯設備

- ・ トイレの洗面所に局所式給湯器を計画します。

□排水通気設備

- ・ 建物内は汚水・雑排水合流方式、屋外は汚水・雨水分流方式で計画します。
- ・ 既存のトイレまで敷設されている排水管は撤去し、新設排水管を計画します。
- ・ ドライエリアに湧水ポンプを設置します。
- ・ トイレ廻りの排水管はすべて撤去・更新で計画します。
- ・ 2階のカフェ・コワーキングのミニキッチンからの排水管を計画します。

□衛生器具設備

- ・ 既存の衛生器具はすべて撤去し、パブリック向けの必要な器具を計画します。
- ・ 寒冷地仕様は不要とします。

□消火設備

- ・ 消火器は既存流用とします。

□空調設備

- ・ 空調方式は空冷ヒートポンプ型パッケージエアコン（寒冷地向け・冷暖切替）で計画します。
- ・ 室内機は床置形（壁ビルトイン形、ローボーイ形）で計画します。
- ・ 空調機のリモコンは室内機がある室内に計画します。

□換気設備

- ・ 居室の換気は機械換気設備とし、床置形の全熱交換器を計画します。
- ・ 全熱交換器のリモコンは全熱交換器がある室内に計画します。

■電気設備

□受変電設備

- ・ 屋外キュービクル受変電設備を計画します。
- ・ 高圧電力引込用構内柱を建柱し、キュービクルまで埋設配管にて高圧ケーブルを計画します。（敷地までの高圧電力インフラは、現在ありません。）

□幹線・動力・警報設備

- ・ 屋外キュービクルから各盤へ、低圧幹線を埋設配管にて計画します。
- ・ 事務室に電灯分電盤を、室外機置場近辺に屋外動力盤を計画します。
- ・ 空調機など建物付帯動力機器に対して、最寄りの屋外動力盤から電源供給を行います。
- ・ 事務室に警報表示盤を設け、建物付帯設備の各種警報を表示する計画とします。

□電灯・コンセント設備

- ・ 全館 LED 照明を採用します。
- ・ 配線ダクトを吊り下げ、室用途に応じてベースライト、シーリングライト、スポットライトを計画します。
- ・ イベントホールの一部の照明は調光可能とする計画とします。
- ・ 適宜コンセントを計画します。

□防災設備

ー非常照明ー

- ・ 建築基準法に準拠し、LED 非常照明（バッテリー内蔵型）を計画します。

ー誘導灯ー

- ・ 消防法に準拠し、LED 誘導灯（バッテリー内蔵型）を計画します。

ー自動火災報知設備ー

- ・ 消防法に準拠し、P 型受信機および感知器を計画します。（既存の自動火災報知設備を流用とし、追加が必要な箇所に感知器を計画します。）

□電話・情報通信設備

- ・ 事務室に弱電端子盤を計画します。
- ・ 弱電端子盤から各所に設けた電話・情報用アウトレットへ配線を計画します。

□拡声設備

- ・ イベントホールに移動式ポータブルアンプ装置（アンプ・スピーカー・マイク）を計画します。

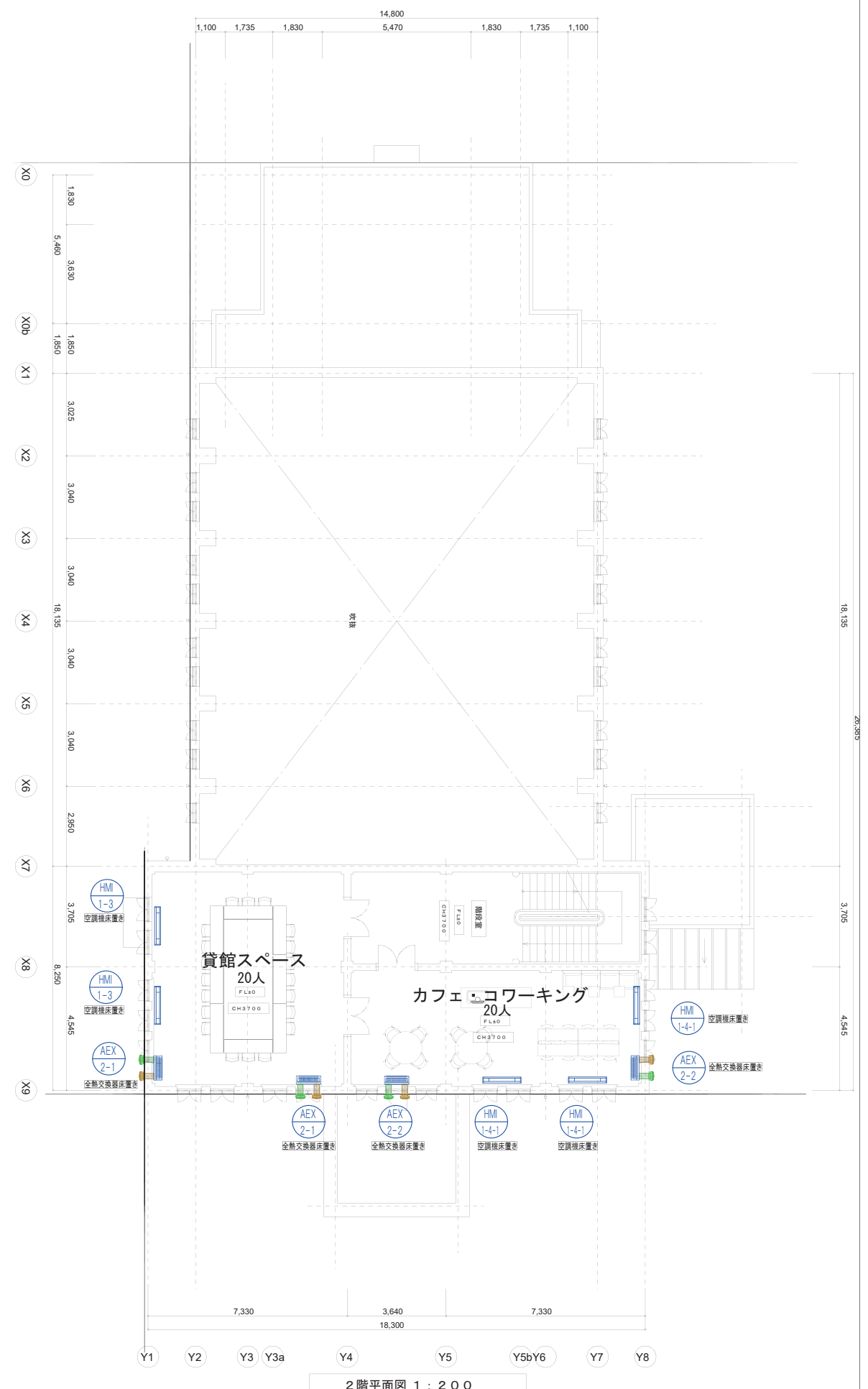
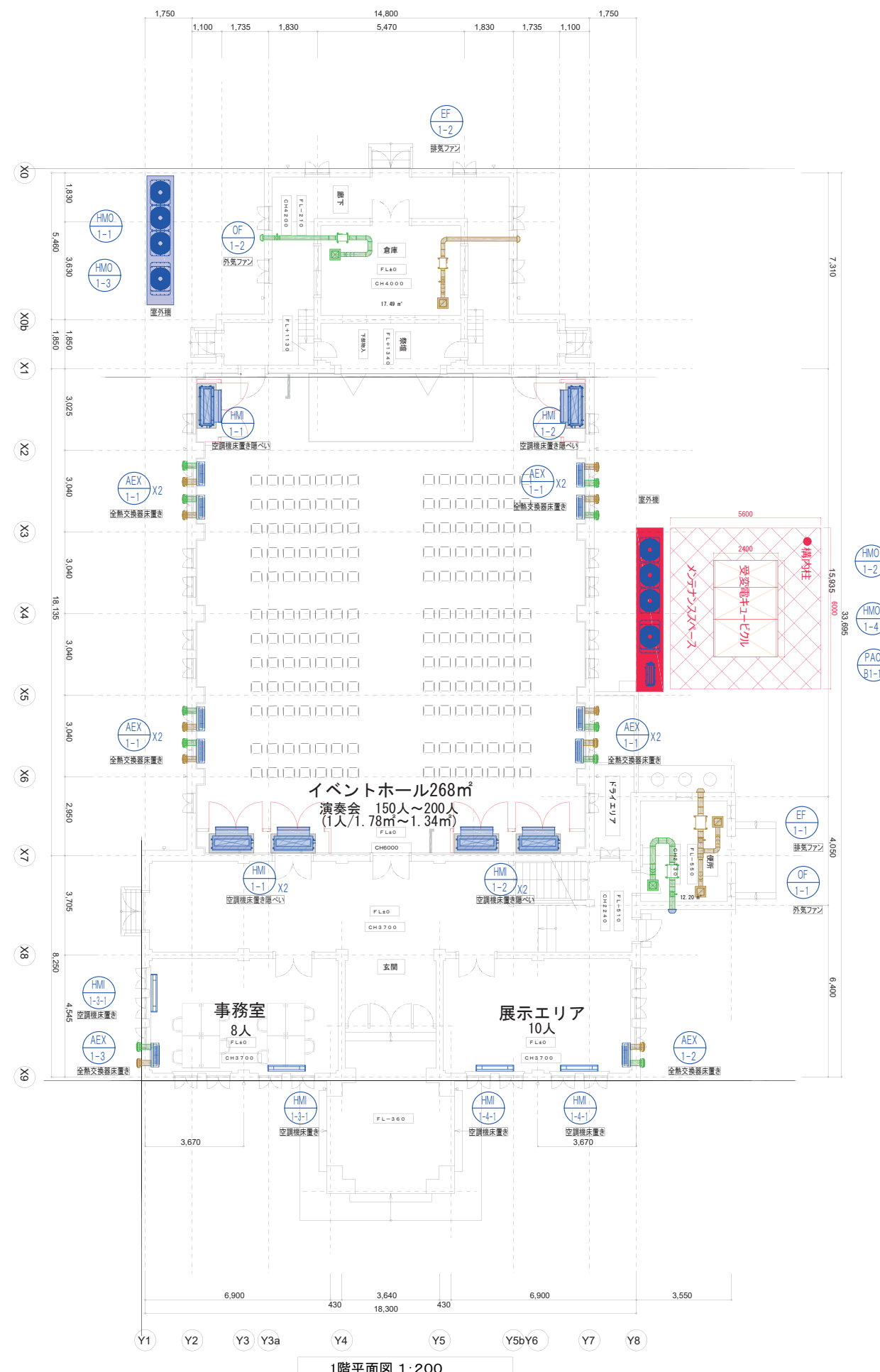
□インターホン

- ・ 建物外に設けたドアホンから、事務室インターホンへ呼出を計画します。

■別途工事

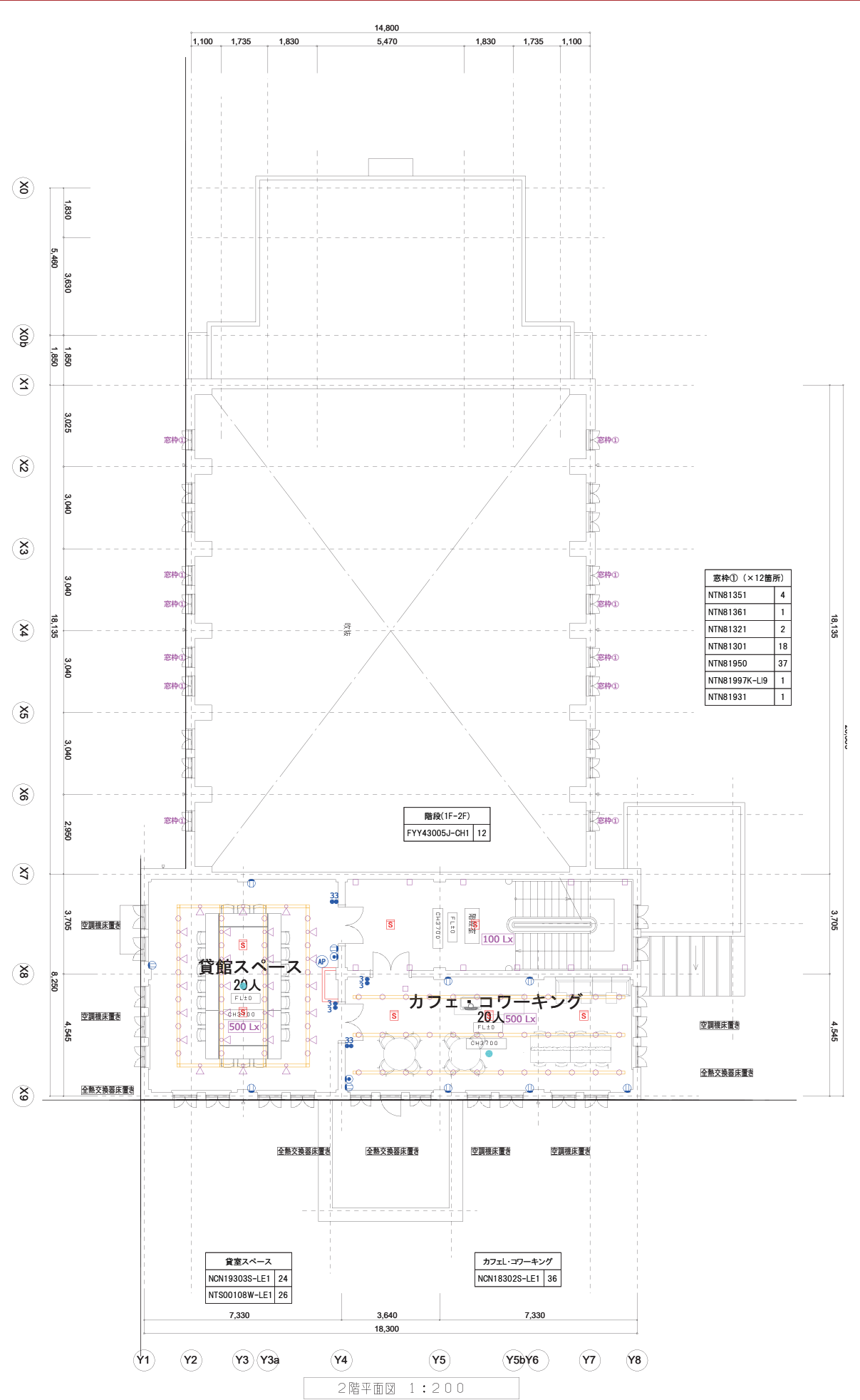
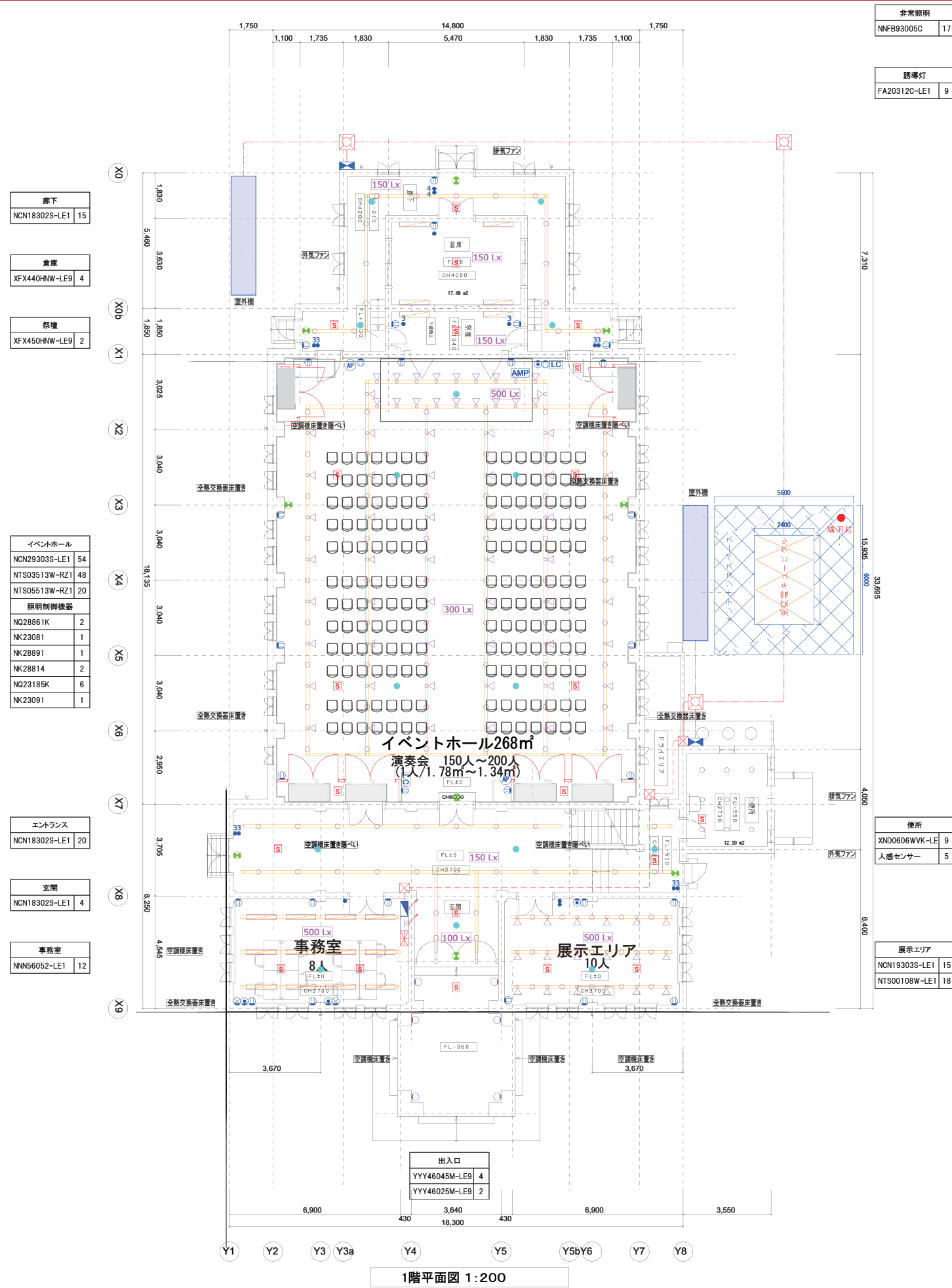
- ・ 高圧電力工事費負担金、給水・排水工事に伴う加入金・負担金等、電話外線引込み、情報外線引込み、電話設備機器、情報通信機器、テレビ共聴設備一式、機械警備設備一式、防犯カメラ設備一式、

4 E-2 衛生空調設備プロット図





4 E-4 電気設備プロット図



5 窓枠検討図 空間の記憶を来館者に伝える。歴史的価値の継承と、現代的な利用価値の向上が可能です。

「記憶の継承」

：耐震化で既存窓が埋まる部分に、造作の壁をふかして窓型のくぼみを設け、照明で輪郭を浮かび上がらせます。かつて窓があった記憶」を可視化し、歴史を感じられる演出となります。

四隅を耐震壁とした場合



中央を耐震壁とした場合



内観パース 耐震壁を中央に配置し、窓型のくぼみによる既存窓のリズムを継承



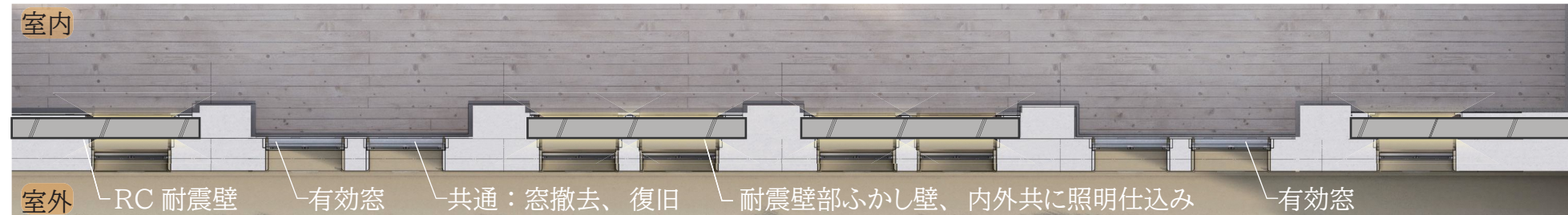
ライニングは一度撤去後、手面に移動して再設置

運用上のプラス要素

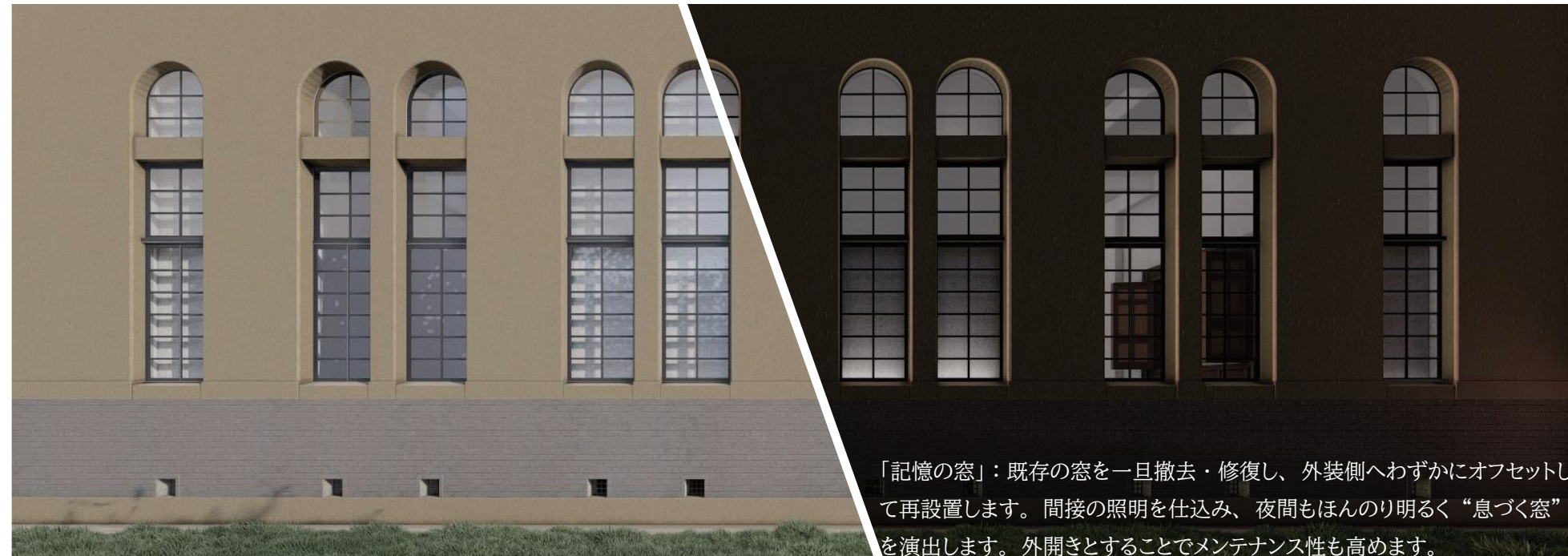
：耐震壁の配置調整で四隅の窓を有効窓として残すため、各イベントで仮設の間仕切りを入れても各室に外部へ開く窓を確保できます。

様々な間仕切りに対応でき、今後の活用計画に柔軟に対応可能です。

外壁 平面図

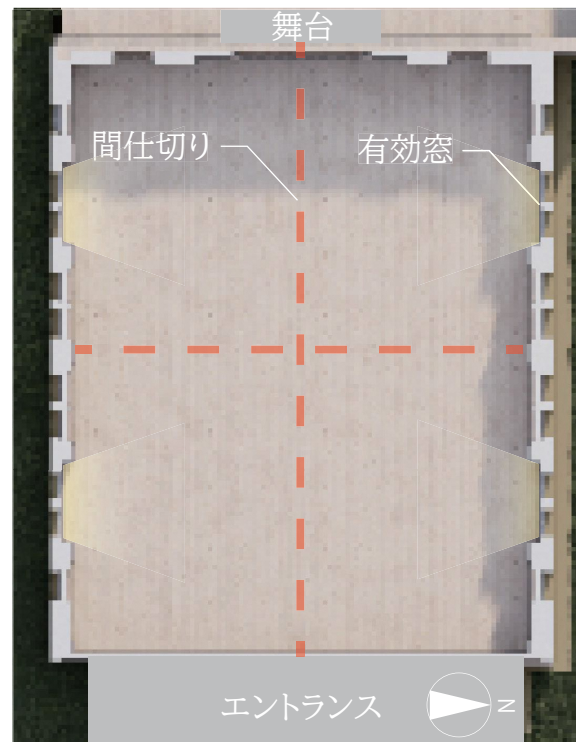
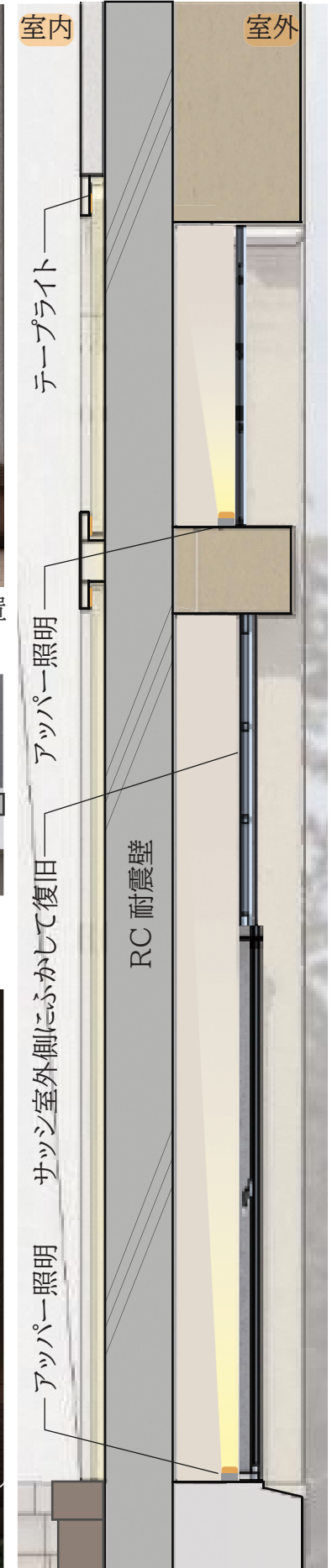


外観パース 昼\夜

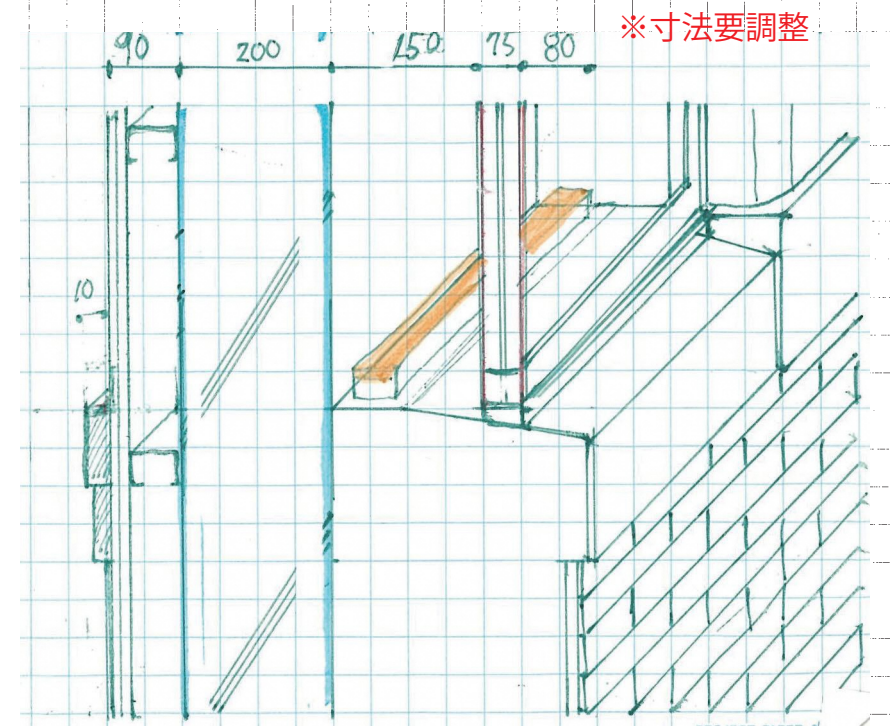
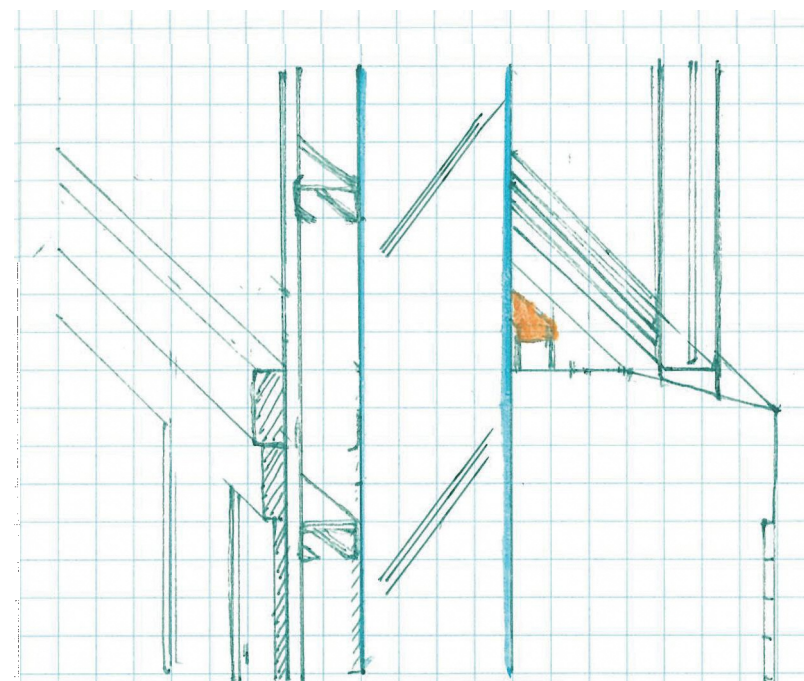
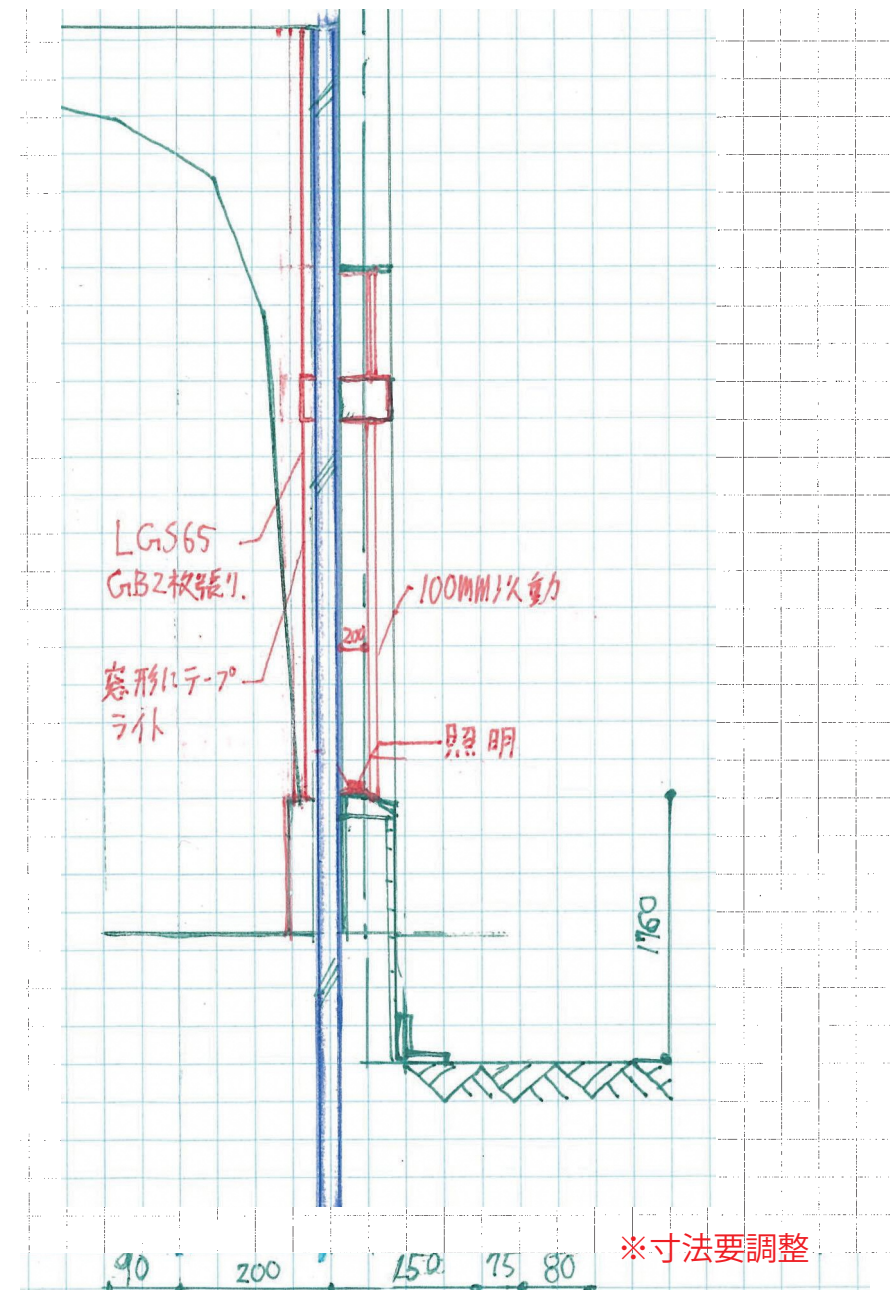
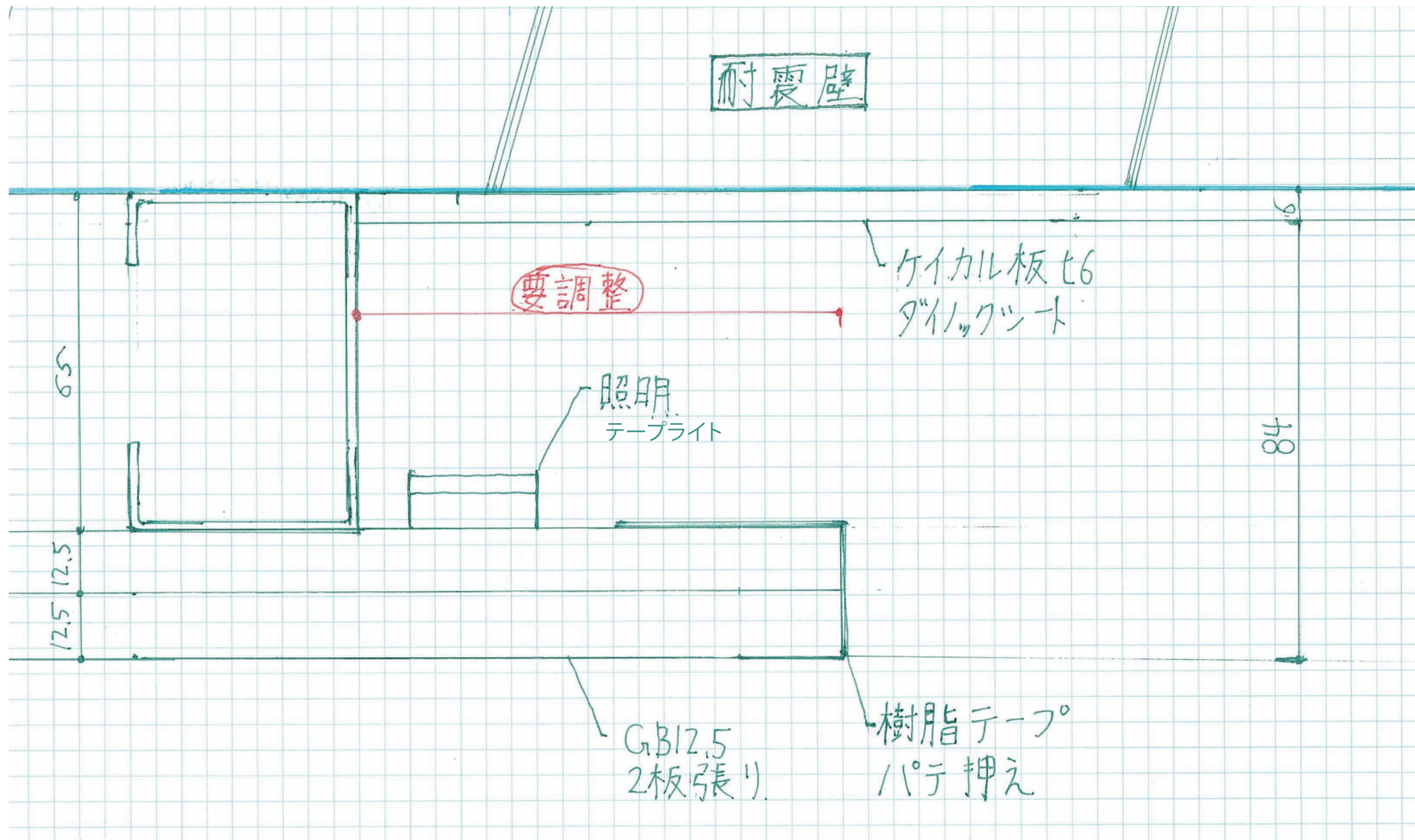


「記憶の窓」：既存の窓を一旦撤去・修復し、外装側へわずかにオフセットして再設置します。間接の照明を仕込み、夜間もほんのり明るく“息づく窓”を演出します。外開きとすることでメンテナンス性も高めます。

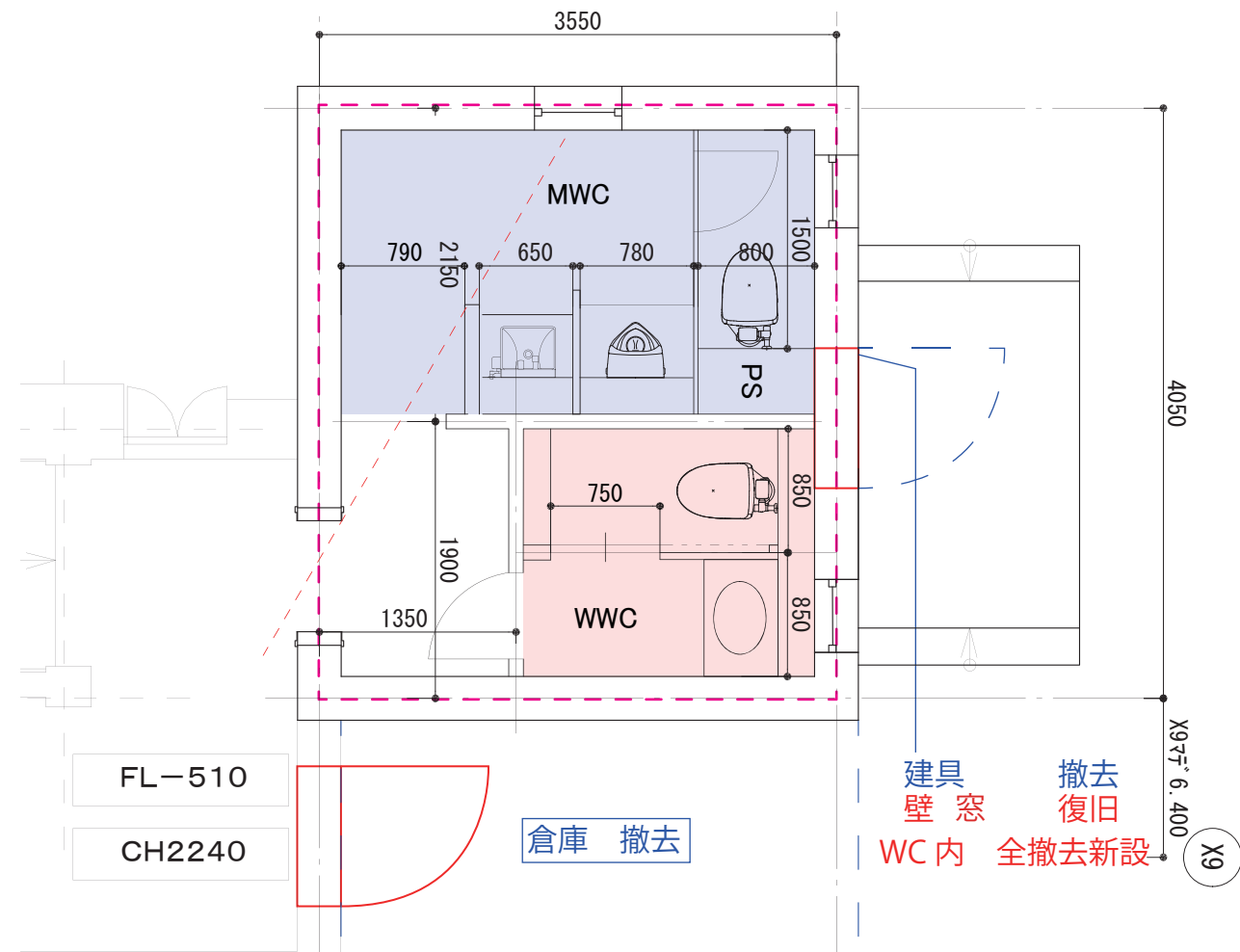
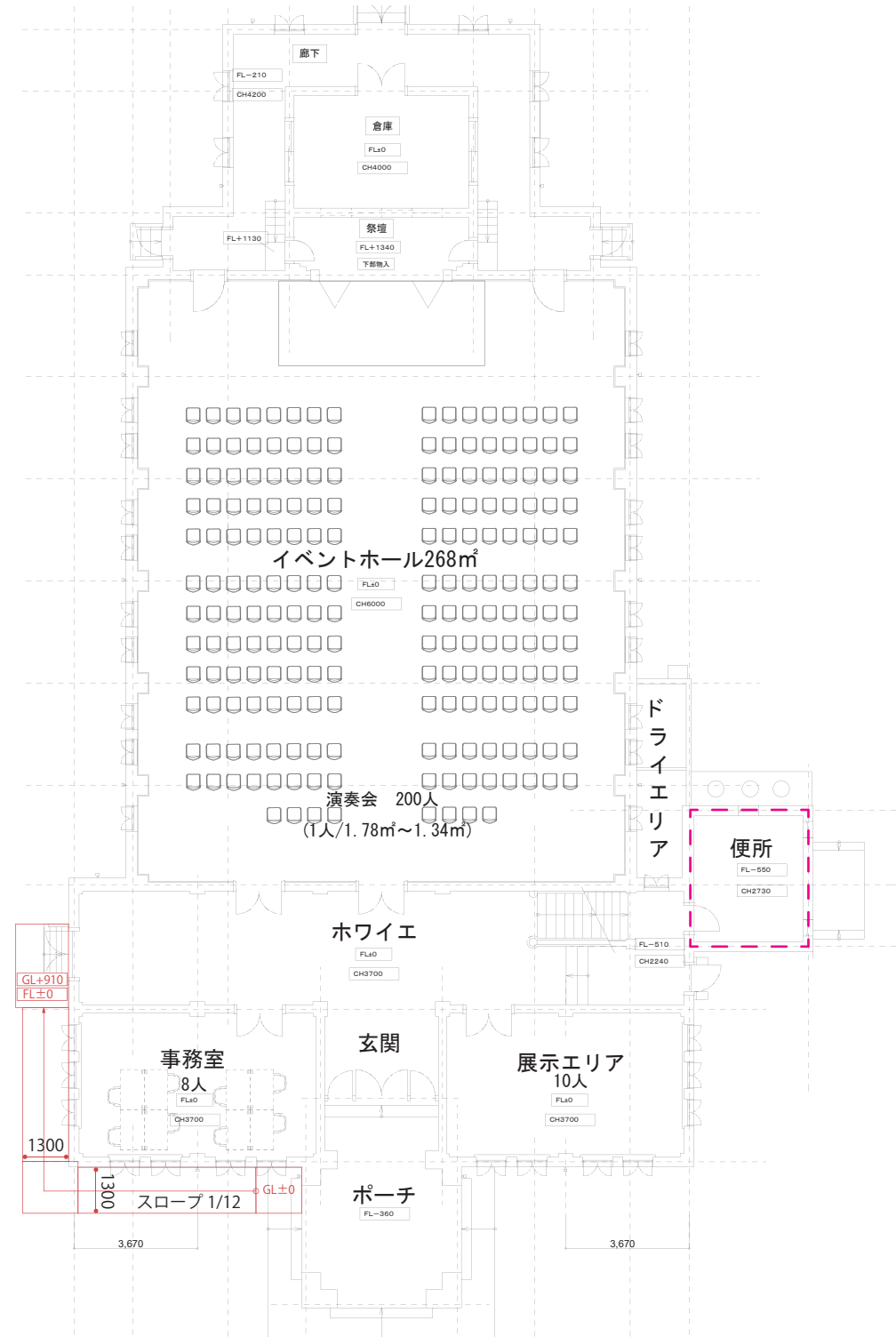
窓 耐震壁あり断面図



5 耐震壁部 光窓詳細図



5 トイレ検討図

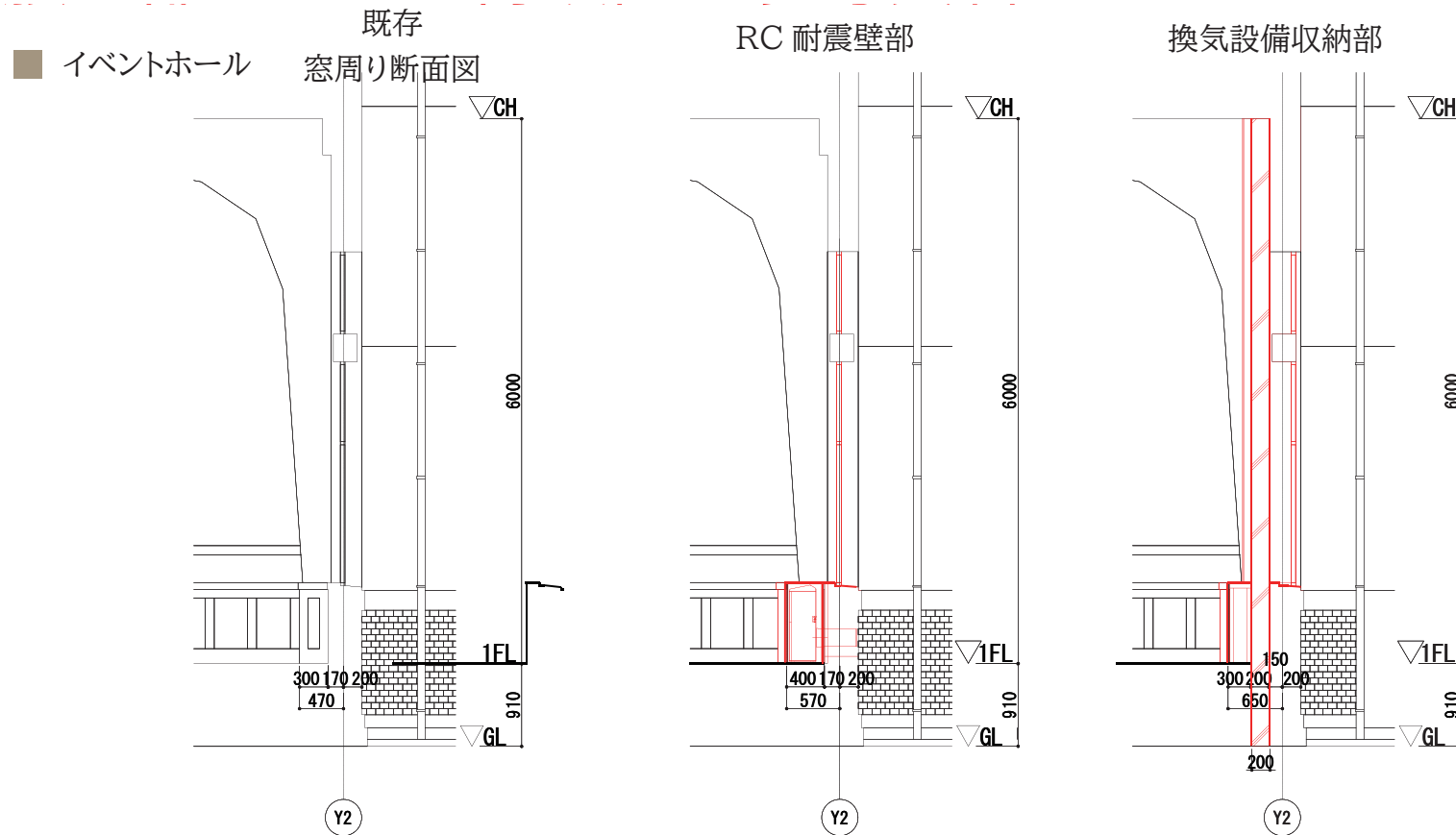


トイレプラン変更図
A案 1:50

既存便所範囲に男女で分けたプラン
足りない便器数を別棟で補う

既存図 1階平面図 1:200

5 換気設備ライニング 外構室外機スペース



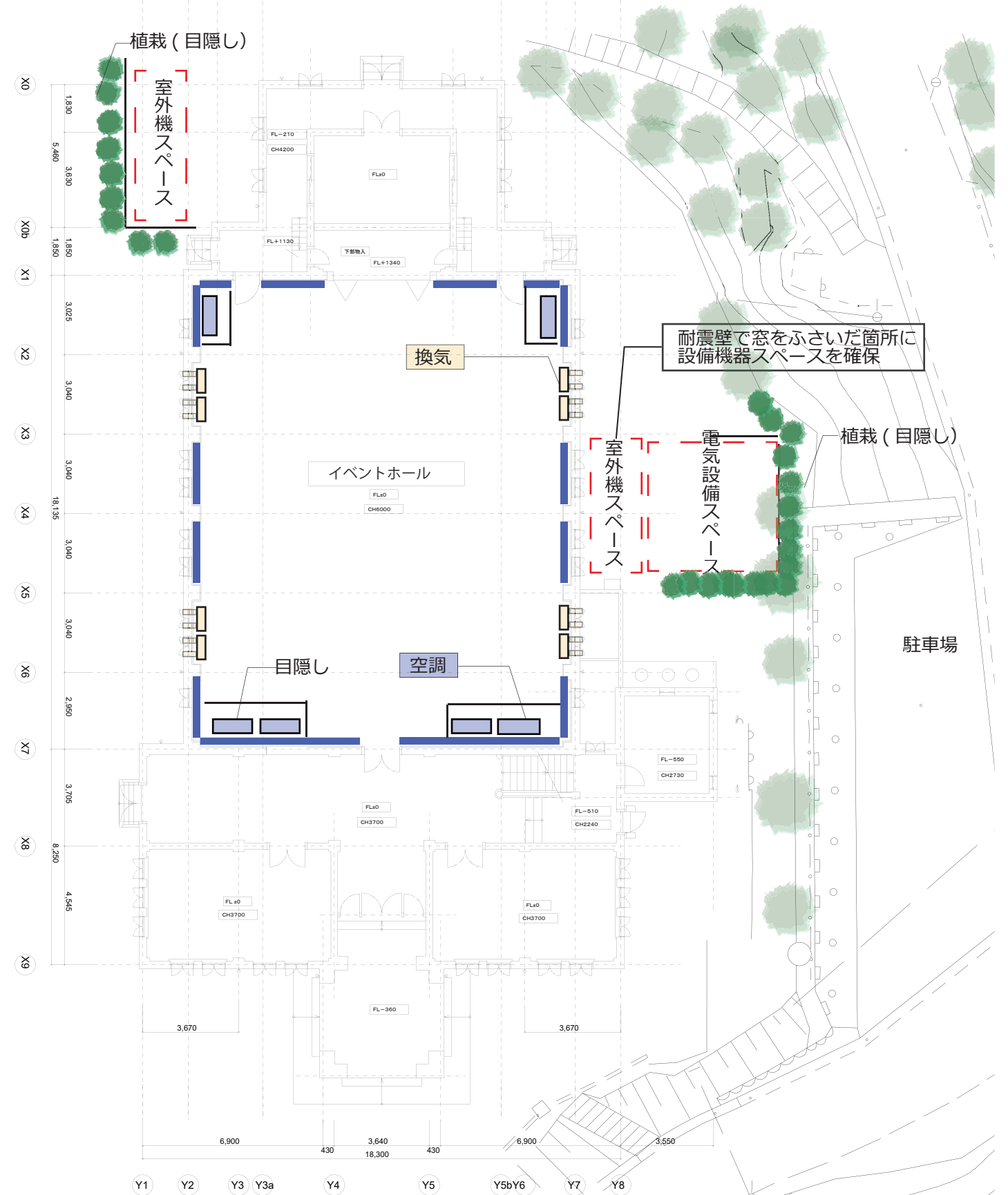
■ 内観パース 腰壁をふかして設備を隠しペリカウンターとして機能させる。



■ 外観パース 外壁に貫通する全熱交換器のキャップは意匠デザインに配慮する



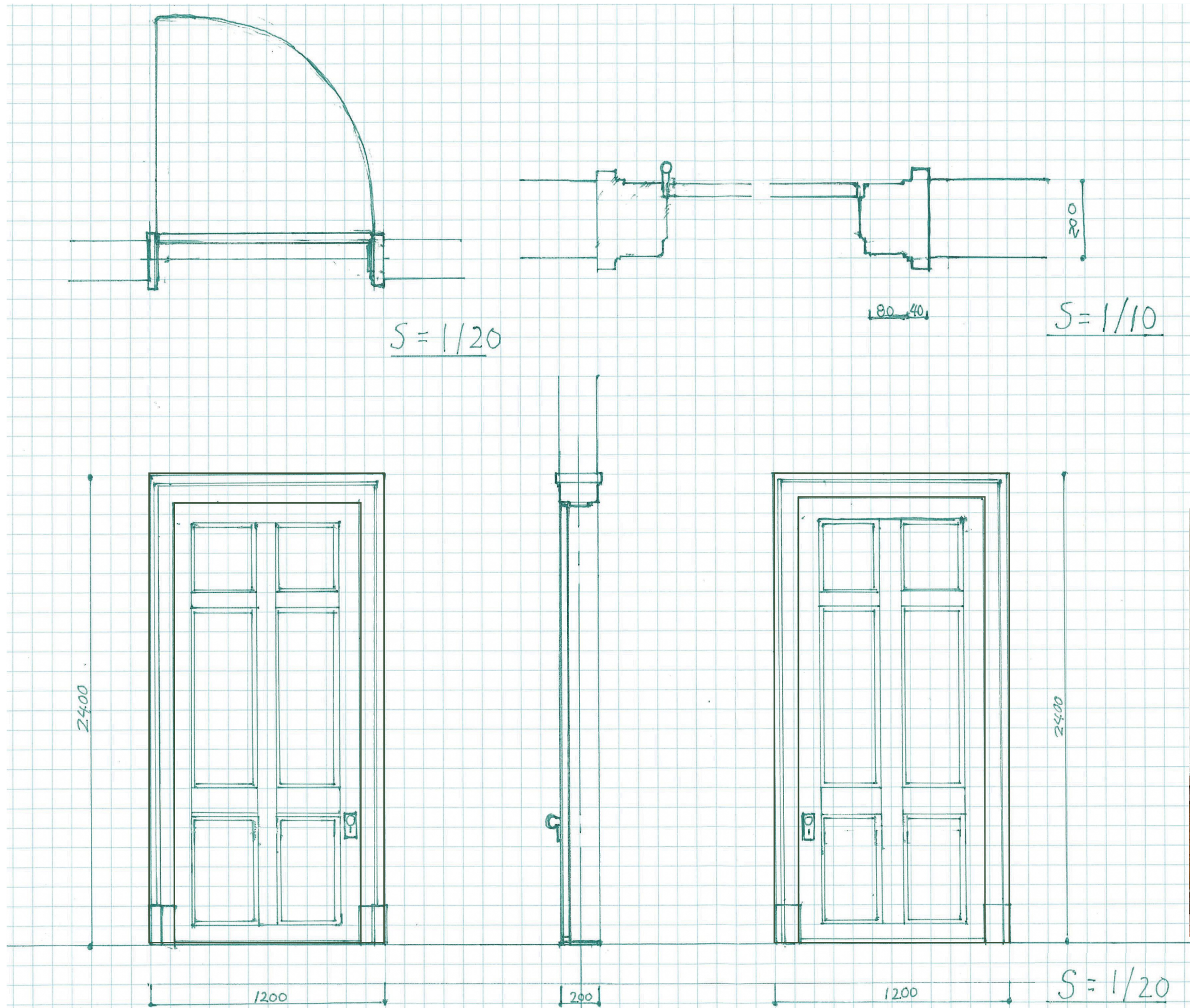
■ ホールの空調換気設備・主な室外機 配置イメージ ※今後の計画により変更する可能性があります。



■ 耐震壁

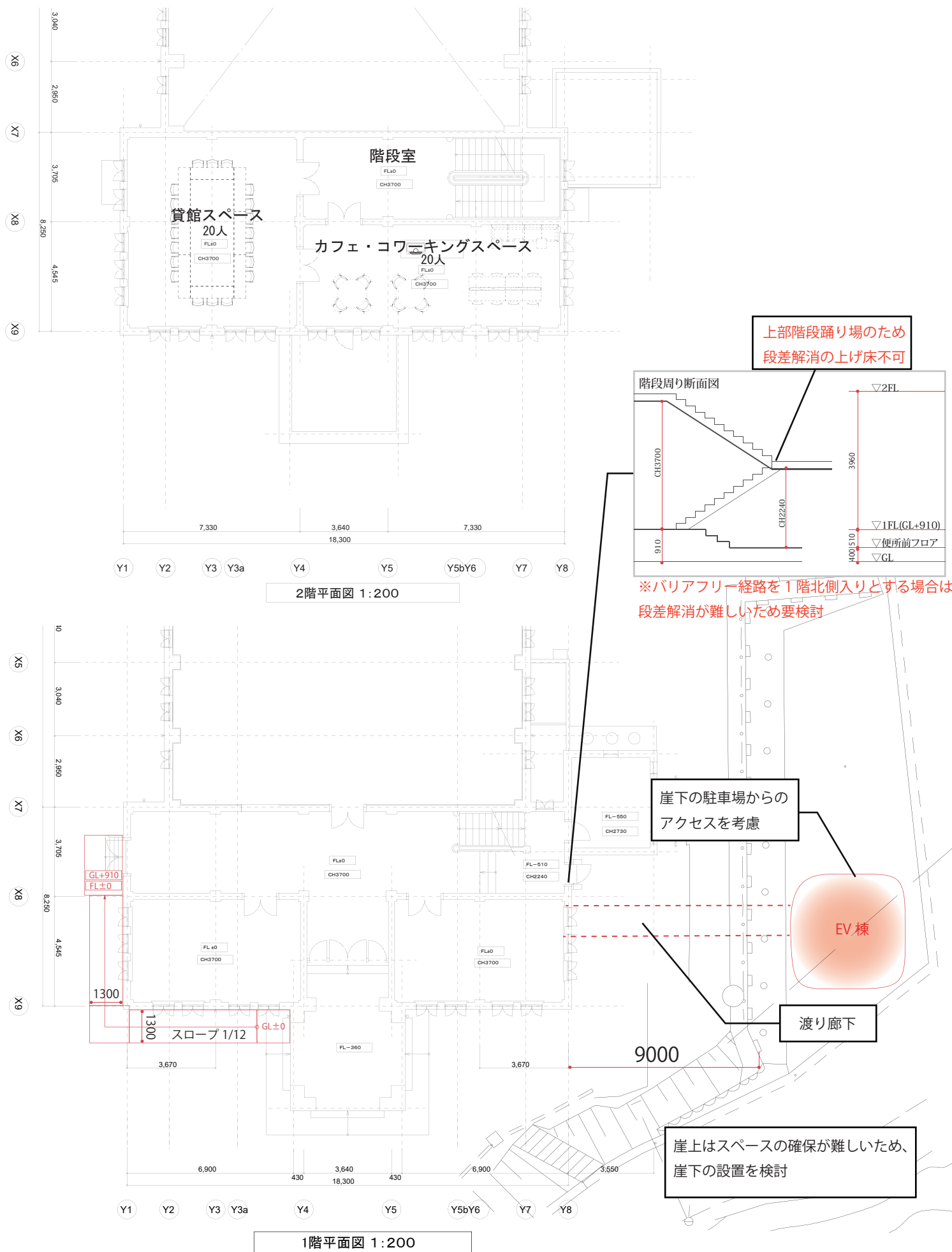


5 木建具 参考図



※新設する際
どこまで復旧するか要検討
(握り玉位置など)

5 EVを自主設置する際の検討資料



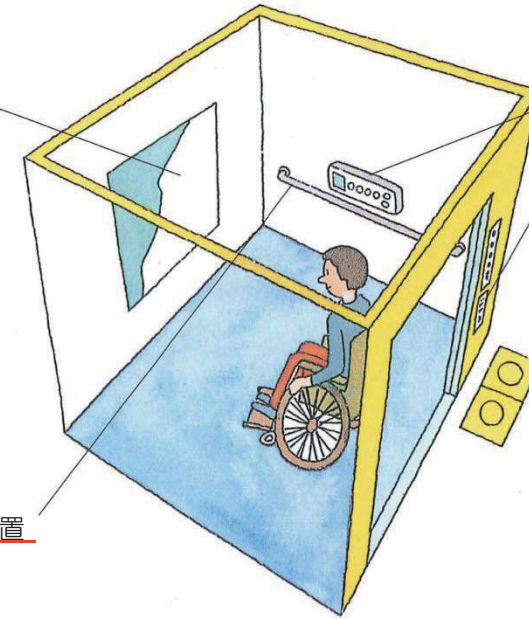
■エレベーター

- エレベーターの出入口の幅は 80 cm以上
- エレベーターのかごの奥行きは 135cm 以上

●戸の開閉状態が 確認できる鏡

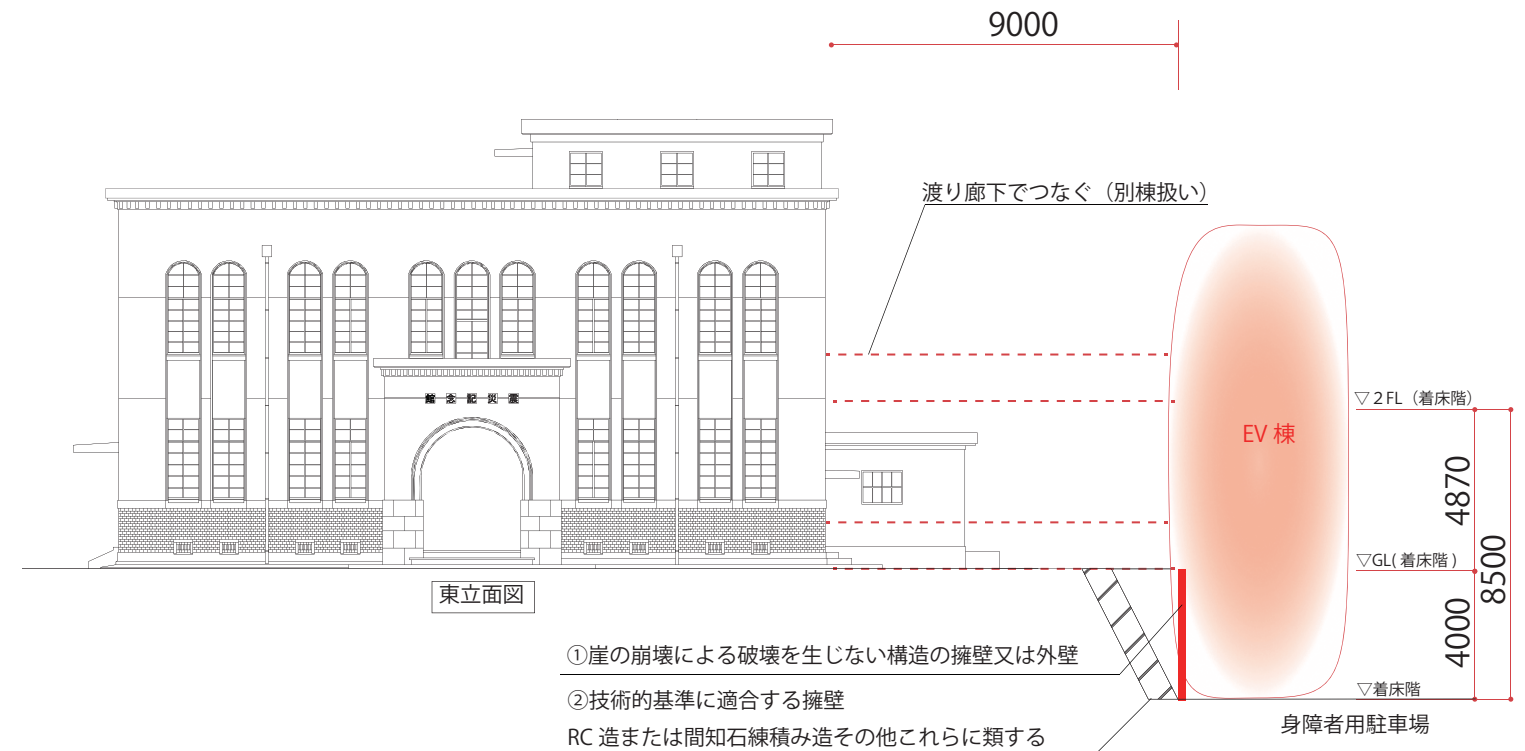
●車いす使用者や視覚障害者も利用できる 操作盤を設置

●手すりを左右両面に設置



EVを自主設置した場合の京都府福祉のまちづくり条例 適合条件

EV棟を崖の下に設ける場合、①②どちらかの適合が必要
(京都府建築基準法施行条例 6条 崖に近接する建築物)



- ①崖の崩壊による破壊を生じない構造の擁壁又は外壁
- ②技術的基準に適合する擁壁
RC造または間知石練積み造その他これらに類する